

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかな増加傾向にある。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

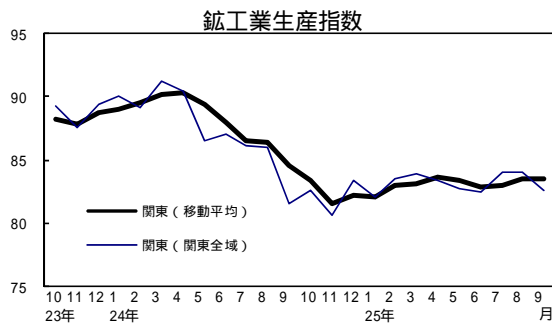
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 25 年 8 月)	今回 (平成 25 年 11 月)	
鉱工業生産	持ち直しの動きに一服感	持ち直しの動き	
個人消費	緩やかに増加	緩やかな増加傾向	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。(関東全域)

7～9月期には、輸送機械は、軽乗用車の新型車の生産が好調だったこと等から増加した。化学は、化粧品、合成ゴム、フェノールが低調だったこと等から減少した。一般機械は、米国向けの蒸気タービン部品、機械プレス、渦巻きポンプ等が好調だったこと等から増加した。電気機械は、猛暑の影響によりセパレート型エアコンや、米国やタイ向けの医用X線装置が好調だったこと等から増加した。食料品・たばこは、たばこ、牛乳が好調だったこと等から増加した。



(備考) 1. 17年=100、季節調整値。最新月は速報値。

2. 太線は後方3か月移動平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

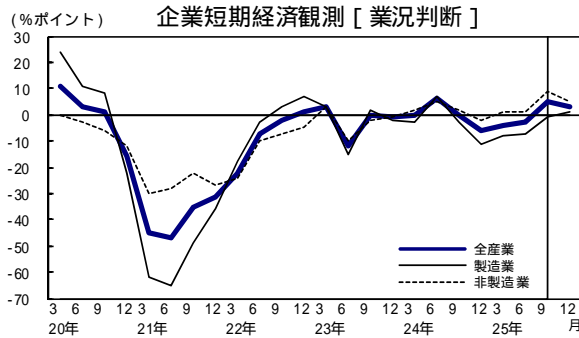
	付加価値 ウェイト	生産				
		4～6 月期	7～9 月期	7月	8月	9月
輸送機械	15.2	0.3	0.8	3.4	1.5	1.1
化学	13.4	2.6	2.3	5.0	0.1	-
一般機械	13.2	4.2	4.9	2.4	4.1	8.9
電気機械	7.8	3.1	1.6	5.1	2.6	7.9
食料品・たばこ	7.1	3.6	2.2	0.2	0.6	-
鉱工業	100.0	0.5	0.8	1.9	0.0	1.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

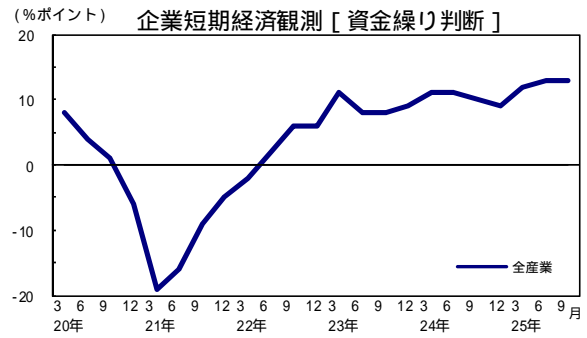
2. 7～9月期、9月は速報値。月別の化学、食料品・たばこは、速報値では公表されていない。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超に転じており、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

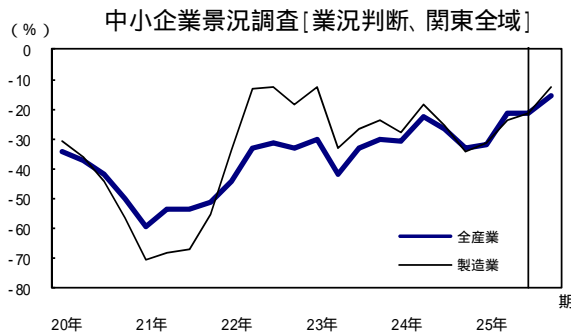
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年12月は予測。
日本銀行横浜支店管内。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
日本銀行横浜支店管内。

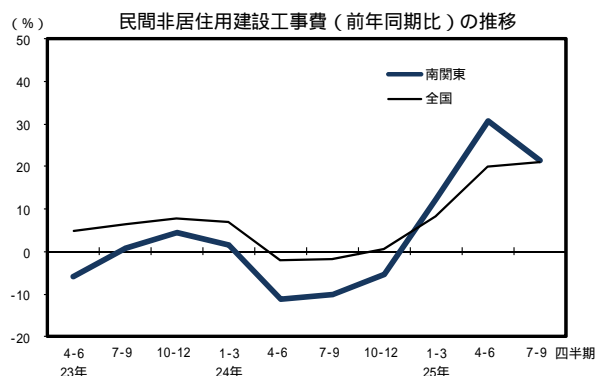


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

「取引先の企業は数年前に業績が落ち込み設備投資を諦めていたが、最近になって土地を購入し、設備投資をし始めている(建設業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	24年度実績	25年度計画
全産業	9.0	7.3(0.3)
製造業	10.4	1.9(0.1)
非製造業	6.1	19.0(1.1)

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。

日本銀行横浜支店管内。

(4) 南関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかな増加傾向にある。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比0.9%減、8月は同1.2%増、9月は同0.5%減となった。

大型小売店販売額

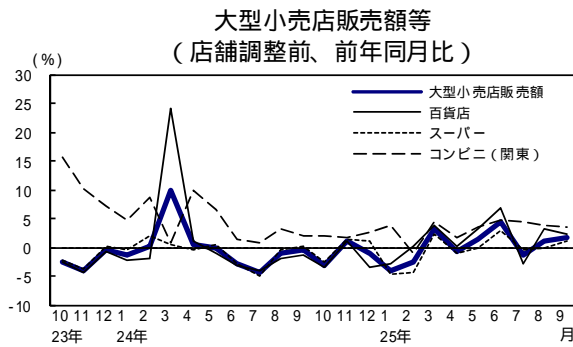
百貨店は、7月は、中元商戦が後半から減速したこと等から前年を下回った。8月は、夏物衣料を中心に売上が伸びたこと等から前年を上回った。9月は、中旬以降の気温低下を背景に秋冬物商材を中心に好調であったこと等から前年を上回った。

スーパーは、主力の飲食料品が堅調だったこと等から前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (10月) [家計動向関連 (現状)]

南関東地域の家計動向関連DIは、49.2となり前月より3.7ポイント低下した。

「今月は大型台風による来客数減が大きく響いており、苦戦している。特に、食料品の売上減の影響が大きい(百貨店)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

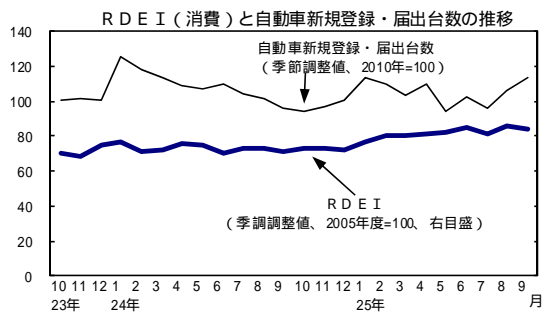


	25年7-9月	25年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.2	0.9	1.2	0.5
大型小売店(*2)	0.4	1.4	1.2	1.7
百貨店(*2)	0.6	2.7	3.1	2.4
スーパー(*2)	0.2	0.4	0.1	1.1
コンビニ(*2)	4.0	4.4	4.0	3.6
乗用車(*3)	4.8	2.7	18.3	19.4
(季節調整値)(*3)	3.0	10.6	6.7	0.4

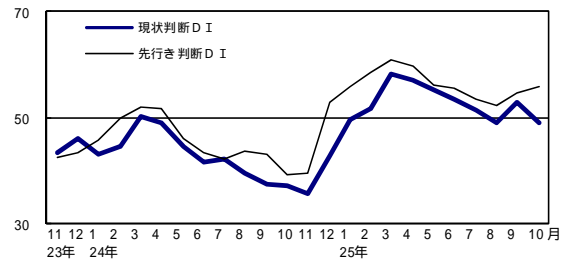
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)、コンビニは関東全域

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))



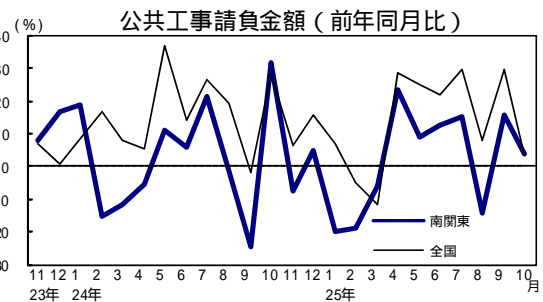
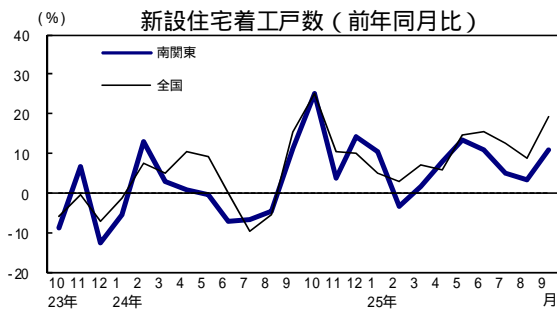
景気ウォッチャー調査 (家計動向関連)



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

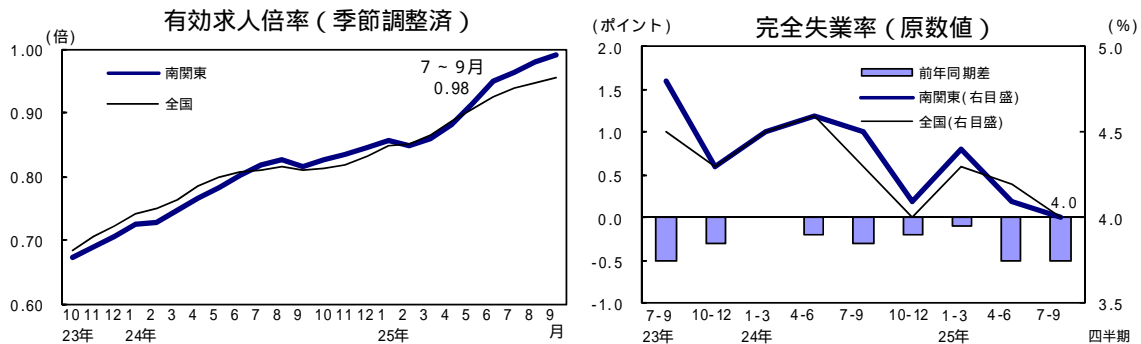
持家、貸家が前年を上回ったことから、大幅に増加している。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用増勢は改善している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (10月) [雇用関連 (現状)]

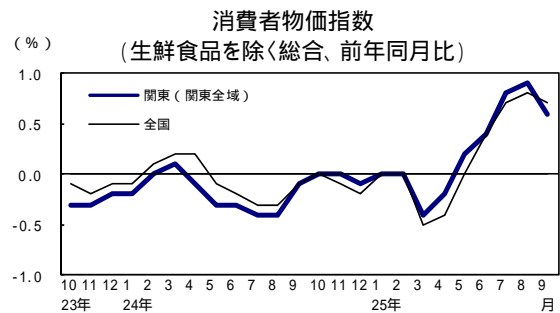
「中堅企業、大手企業では求人計画が中期的に立てられるようになってきたため、求人内容は安定してきた (民間職業紹介機関)」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は減少している。

- (3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年10-12月	25年1-3月	4-6月	7-9月	25年10月
倒産件数	929	933	931	929	303
(前年比)	9.5	14.8	12.8	1.9	7.3
負債総額	2,630	2,042	3,414	2,396	576
(前年比)	21.5	78.3	48.9	35.5	46.2



景気ウォッチャー調査 (10月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・他店も含め販売台数が伸びている。客の来店や購買意欲が上がっている (乗用車販売店)

<先行き>

- ・暮れが近付くと、必然的に買物をする客が多くなるので良くなる (コンビニ)

